



小羽山

R8. 6月
小羽山小学校だより
第647号



小羽山小HP

認め合い、多様な人と力を伸ばす子に ~絆づくり~



先日、子どもたちをいつも見守ってくださる方々との対面式を行いました。「おはよう。」「いってらっしゃい。」と、いつも子どもたちに声をかけてくださる見守り隊の方々。「今まであいさつの声が小さかった子が、大きな声であいさつしてくれるようになった」「学校のことを話してくれて嬉しい」など、子どもたちとの関わりを喜んでくださっていることを伺って、学校としてもありがたく嬉しい気持ちでいっぱいです。

見守り隊の方からは、「みんなの元気なあいさつが力になる」というお話があり、翌日から子どもたちのあいさつの声も変化してきているように感じます。式の中で子どもたちからは、日頃の感謝の思いや今年もよろしくお願ひしますという気持ちを伝えることができました。



1年生を迎える会や運動会でも委員会や係といった子どもが中心となり、たてわり班で活動したり、異学年で練習に励んだりして取り組む機会を設けています。学校生活の中だけでなく、子どもたちは様々な場面で、思いどおりにならないことにもたくさん出会います。そんなとき、どのように折り合いをつけていくのかを学ぶことも、生きていく上でとても大切な力です。この力を身に付けていくためには、**多様な人と出会うこと**、そして、**共に体験をすることやコミュニケーション力が大切**です。その多様な人たちとの出会いの場をコーディネートするのも、学校の大切な役割だと考えています。

遊びの中での譲り合いや、あきらめずに最後までやり抜いてできるようになったことなど、一つ一つの体験を通して、**我慢すること、感謝すること、本気で向き合うこと、相手を思いやること、互いの違いを認め合うこと**など大切な「生きる力」を身に付けていきます。

新しい環境にも慣れてきました。雨が続きたり、思いがけない暑さになったりして不快指数が上がることもあります。イライラする気持ちが心ない言葉となり、思いがけず相手を傷つけてしまったり、思い込みで行動してしまったりしがちな時期でもあります。子どもたちを信じることを大切にしながらも、もし、まちがっていたら正していくことも大人の責任です。子どもたちが認め合ってみんなで力を伸ばしていくことを目指して、必要な力を共に育てていきましょう。



6月18日(木)から桃山中学校区でメディアに関する取組も始まります。メディアの時間を読書、運動、家族の団らん等に置き換える取組です。ご家庭や地域でもご協力をよろしくお願ひいたします。

<6月の主な行事>



日	曜	校内行事	下校時刻			
			13:25	14:15	14:40	15:30
1	月	教育実習(~12日)クラブ① 全校外庭掃除(135年) SC 来校	1年		2~3年	4~6年
2	火	4年社会見学 プール掃除 全国歯みがき大会5年			1,2年	3~6年
3	水	すくすく教室	1年	2~6年		
4	木	全校外庭掃除(246年) 内科検診(1・3年)			1,2年	3~6年
5	金	プール掃除(予備日) 自転車教室(4年)			1~3年	4~6年
6	土					
7	日					
8	月	代表委員会②	1年		2,3年	4~6年
9	火	新体力テスト			1,2年	3~6年
10	水	フッ化物洗口 プール開き すくすく教室	1年	2~6年		
11	木	新体力テスト(予備)			1,2年	3~6年
12	金				1~3年	4~6年
13	土					
14	日					
15	月	委員会③ SC 来校	1年		2~4年	5,6年
16	火	引き渡し訓練				全学年
17	水	4校時授業 フッ化物洗口 すくすく教室	全学年			
18	木	海のゴミ問題授業(4年)			1,2年	3~6年
19	金				1~3年	4~6年
20	土					
21	日					
22	月				1~4年	5,6年
23	火	文化芸術鑑賞(56年)			1,2年	3~6年
24	水	ゴミ問題出前授業(4年) フッ化物洗口 すくすく教室	1年	2~6年		
25	木	学校運営協議会②			1,2年	3~6年
26	金				1~3年	4~6年
27	土					
28	日					
29	月	SC 来校			1~4年	5,6年
30	火				1,2年	3~6年



◆ 7月以降の予定



- 1日(水) 4校時授業
- 3日(金) 参観日 個人懇談(希望者)
- 6日(月) クラブ
- 17日(金) 1学期終業式 給食終了
- 8月25日(火) 2学期始業式 給食開始



引き渡し訓練について (6月16日(火) 15:00~)

先日、文書でお伝えしましたが、6月16日(火)15:00から引き渡し訓練を実施します。児童の命を守るための大切な訓練です。毎年、あってはならない事件・事故がどこかの学校で起きています。命を守るためには、「訓練」と「当事者意識」が必要です。自分は大丈夫だろうという気の緩みがない訓練にしたいと思います。ご家庭でも話題にさせていただき、訓練当日も真剣に取り組めるよう、ご協力よろしくお願いたします。